



東京の民生委員制度 100 周年 記念式典・イベント「昼下がりの落語会」を開催

と き 1月18日(金) 午後2時~4時

ところ 練馬区立練馬文化センター大ホール(練馬 1-17-37)

区と練馬区民生児童委員協議会は、18日、練馬区立練馬文化センター(練馬1丁目)で、東京の民生委員制度創設100周年にあわせた記念式典とイベントを開催した。

午前は、前川耀男区長、福沢剛区議会議長ほか、民生・児童委員など約600名が出席する記念式典を、午後は、民生・児童委員の活動PRを目的とした区民向けイベントを開催した。

午後のイベント第一部では、民生・児童委員自ら寸劇で委員の活動をPR。景品の当たる手旗ゲームなども行い、会場は大いに盛り上がった。

第二部は、落語家の桂文治さん、柳亭芝楽さん、コントD51(でごいち)さんによる落語会が行われた。新春に無料で落語を鑑賞できるとあって会場は大盛況。参加者は熱心に耳を傾けていた。

また、写真やイラストで民生・児童委員の活動を紹介したパネル展示や、福祉作業所の自主製品の販売が行われ、多くの区民で賑わった。

参加した区民は、「これまで民生・児童委員のことはよく知りませんでしたが、イベントに参加して、活動内容がよく分かりました。困りごとがあったら気軽に相談してみたいと思います。落語も楽しませていただきました。」と笑顔で話していた。



▲落語会の様子



▲PRイベントの様子

【東京都民生委員制度創設100周年について】

大正7年(1918年)6月に創設された東京都の救済委員制度が東京の民生委員の始まりとされており、平成30年に制度創設100周年を迎えた。

【練馬区における100周年記念PR活動について】

平成30年5月に、区役所アトリウムにて、前川区長が「一日民生・児童委員」として民生・児童委員の活動をPRしたほか、活動パネル展、民生・児童委員が結成した混声合唱団によるミニコンサートを開催した。



▲パネル展の様子

【参考】練馬区の民生・児童委員活動について

区内を20地区に分け、地区を担当する民生・児童委員531名、児童問題を専門に担当する主任児童委員40名が活動している。(平成31年1月1日現在)

担当区域の見守り、相談、援助を行いながら、避難行動要支援者の安否確認、敬老祝品の贈呈、高齢者実態調査など、幅広い活動を展開している。

【問い合わせ】練馬区福祉部管理課 電話03-5984-2716